

授業名	からだのしくみ			開講学年	2回生	単位数	2単位	
英文名	Mechanism of Human Body			開講時期	春学期	必修・選択	選択	
担当者	山本 明美			対象学生	介護2回生			
授業の概要	<p>人体の構造、機能および疾病についての基礎的事項を講義する。さらに、人体を器官系に分類し、関連する疾病群の解説をする。また、健康を維持するための基礎的注意点についても述べる。</p>							
学習成果到達目標	<p>1) 人体の構造と機能の基礎的事項が理解できる。 2) 疾病の原因とその予防法について理解できる。 3) 健康の概念を理解し、生活に生かしていくことができる。</p>							
評価方法	定期試験 (70 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (30 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評価基準	主たる評価の 観点	知識・理解 (コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力) (課題発見・解決能力) (
テキスト	<p>医学入門 土田隆編者 建帛社</p>							
参考書	<p>使用しない</p>							
留意事項	<p>難解な医学用語、内容が多いので、毎回の予習および復習は必要である。</p>							
オフィス アワー	<p>担当授業終了後に実施する。</p>							

授 業 名		からだのしくみ	
授 業 計 画	学習項目	学習内容・課題	
第1回	身体の基本的構造	(内 容) 細胞の基本構造と種類 (必要な準備) 教科書 p.1-8を一読しておく	
第2回	循環器系	(内 容) 心臓の構造と機能、血液およびリンパ液の成分と循環について (必要な準備) 教科書 p.13-16を一読しておく	
第3回	循環器系疾患について	(内 容) 心臓と血液および血液の疾患 (必要な準備) 教科書 p.70-75を一読しておく	
第4回	消化と吸収	(内 容) 消化と吸収のしくみ (必要な準備) 教科書 p.20-25を一読しておく	
第5回	消化器系疾患	(内 容) 消化器系の疾患と症状について (必要な準備) 教科書 p.87-95を一読しておく	
第6回	尿の生成と排泄	(内 容) 腎臓の構造と機能、排尿の仕組みについて (必要な準備) 教科書 p.26-28を一読しておく	
第7回	腎・泌尿器疾患	(内 容) 腎臓、前立腺の疾患 (必要な準備) 教科書 p.95-97を一読しておく	
第8回	呼吸器の構造と役割	(内 容) 呼吸器の構造と機能、呼吸の調節機能について (必要な準備) 教科書 p.17-20を一読しておく	
第9回	呼吸器系疾患	(内 容) 呼吸器系の疾患 (必要な準備) 教科書 p.76-86を一読しておく	
第10回	脳と神経のしくみ	(内 容) 脳・神経系の構造と機能 (必要な準備) 教科書 p.8-12を一読しておく	
第11回	神経疾患	(内 容) 神経疾患の種類と原因について (必要な準備) 教科書 p.56-69を一読しておく	
第12回	内分泌系のしくみについて	(内 容) 内分泌系の相互作用 (必要な準備) 教科書 p.29-33を一読しておく	
第13回	内分泌・代謝系疾患	(内 容) 代謝疾患の種類と原因 (必要な準備) 教科書 p.98-102を一読しておく	
第14回	感染症について	(内 容) 感染症の種類と原因 (必要な準備) 教科書 p.137-145を一読しておく	
第15回	健康の概念	(内 容) WHO憲章から健康の定義について (必要な準備) 教科書 p.158-163を一読しておく	

授 業 名	介護技術			開 講 学 年	2回生	単 位 数	2単位	
英 文 名	Nursing Care Work Skills			開 講 時 期	春学期	必修・選択	選択	
担 当 者	高岡 理恵			対 象 学 生	介護2回生			
授業の概要	<p>利用者は各々の生活背景や生活史の違いによってさまざまであり、障がいのある人や高齢者の生活を理解する必要がある。介護の技術のみを習得するのではなく、なぜその方法をとるのかという根拠とともに、介護技術 で習得した技術を生かし、食事、排せつ、清潔保持という応用的な介護技術を行う。</p>							
学 習 成 果 達 成 目 標	<p>1)自分が行った介護方法に対して人に根拠を説明できる 2)介護に必要な専門用語が理解できる 3)介護される立場にたった丁寧な介護技術が展開できる 4)利用者理解を行ったうえで、介護技術を提供できる</p>							
評 価 方 法	定期試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技	平常試験 (50 %)	筆記試験 口述	レポート 実習	制作物 実技
評 価 基 準	主たる評価の 観点	知識・理解 (態度)	コミュニケーション能力	プレゼンテーション能力		課題発見・解決能力		
テ キ ス ト	介護福祉士養成施設講座編集委員会「生活支援技術」、中央法規							
参 考 書	随時、プリントを配布します							
留 意 事 項	実技室に入室するときには「介護技術」と同様、身支度を整えてください							
オ フ ィ ス ア ワ ー	研究室に張出しします							

授 業 名		介 護 技 術
授 業 計 画	学 習 項 目	学 習 内 容 ・ 課 題
第1回	科目ガイダンス 感染予防	(内 容) 介護技術の進め方 感染の経路を知ったうえで予防の方法を身につける (必要な準備) テキストでわからない語句や、読み方を調べておく
第2回	食事介護 意義と目的、嚥下のメカニズム	(内 容) ビデオを見ながら嚥下のメカニズムを知る とろみをつけた食事を食べる 脱水、誤嚥の危険性を理解する (必要な準備) テキスト第4章「食事の介護」p188～198を読んでおく
第3回	おいしく食べることを支える介護	(内 容) 食事の工夫、食器の工夫、献立に興味を持ってもらえるような食事を考える 認知・知覚機能が低下している人の介助方法を身につける (必要な準備) テキストp199～210を読んでおく
第4回	利用者の状態・状況に応じた食事介護	(内 容) 感覚機能及び運動機能が低下している人の介助方法を身につける 視覚障がい者への食事介護の実践 片まひ者への食事介護の実践 (必要な準備) テキストp213～220を読んでおく
第5回	清潔保持の介護 理論	(内 容) 入浴の意義と目的を理解する (必要な準備) テキスト第5章「清潔の介護」p222～229を読んでおく
第6回	清潔保持の介護 全身清拭	(内 容) 入浴におけるリスクを考える 体調管理や環境整備をおこなう (必要な準備) テキストp230～235を読んでおく
第7回	清潔保持の介護 洗髪	(内 容) 洗髪を行う上での留意を知る 洗髪の介護を身につける (必要な準備) テキストp236～242を読んでおく
第8回	清潔保持の介護 障害に応じた入浴	(内 容) 様々な入浴形態を知る 入浴を行う上での留意を知る 入浴での配慮を身につける (必要な準備) テキストp243～247を読んでおく
第9回	清潔保持の介護 口腔ケア	(内 容) 口腔のしくみ、唾液の役割を知る ブラッシングの方法を身につける 義歯の取扱いを身につける (必要な準備) テキストp248～255
第10回	清潔保持の介護 足浴・手浴	(内 容) 手浴・足浴の介助方法を身につける 他のスキンシップの方法を知る (必要な準備) テキストp256～268を読んでおく
第11回	排せつ介護 メカニズムと排せつ障害	(内 容) 排せつのメカニズムを知る 排せつ障害を学ぶ 排せつに障害がある人の気持ちを理解する (必要な準備) テキスト第6章「排せつの介護」p270～262を読んでおく
第12回	排せつ介護 気持ち良い排せつを支える介護	(内 容) 様々な福祉用具とおむつの種類を見、選択方法を学ぶ (必要な準備) テキストp263～310を読んでおく
第13回	排せつ介護 安全・的確な排せつの介助の技法	(内 容) おむつ交換、ポータブルトイレの使い方を身につける (必要な準備) テキストp311～331を読んでおく
第14回	実技テスト(事例演習)	(内 容) 事例を読みこみ「その人」に必要な 介護を行う (必要な準備) 今まで学んだ技術の振り返りをしておく
第15回	介技術 のまとめ	(内 容) 事例の振り返りを行う (必要な準備) 実技試験での評価基準を参考にし、復習しておく